



5月29日に小倉台小学校、6月26日に木刈小学校の第1回学校運営協議会が開催されました。

木刈中学校区の3校（木刈中学校・木刈小学校・小倉台小学校）の学校運営協会は学校区として合同設置ではなく、それぞれ学校ごとに設置されています。第2回の学校運営協議会は3校合同で開催する予定です。

小倉台小学校 学校運営協議会 開催レポート



教育委員会から任命書を手渡します。

千葉ニュータウン中央駅を学区に含む小倉台小学校は児童数が1,000人を超える大規模校です。

学校運営協議会の設置は今年度からで、小倉台小学校単独で運営されています。

熟議では「学校規模が大きくなり、以前に比べ地域と学校との交流が少なくなっている」、「コロナ禍以降、こどもたちは公園で遊ぶ機会も減少し、塾や習い事などで多忙になっている」という意見が出されました。また、

「昔遊びを教えるなど、気軽に地域が学校に参画できるとよい」など、具体的な支援策についての意見も見られました。

さらに、「学校に過度な負担をかけず、徐々に成熟していく協議会になるとよい」、「『こどもたちに何ができるか』と同時に、『学校の負担にならないようにする』」など、今後の協議会の方向性についても共有されました。



熟議にて意見交換の様子

木刈小学校 学校運営協議会 開催レポート

木刈小学校は、印西市のニュータウン地区の小学校のなかで最も歴史が古く、創立から40年を超えます。平成29年には創立144年の永治小と統合しました。新しいまちの発展とともに歩みながら、印西市の新しさと古き良き伝統の両方を受け、引き継ぐ学校といえます。

木刈小学校の第1回学校運営協議会は6月26日に開催されました。

授業参観のあと、教育長によるあいさつと、任命書の交付が行われ、その後、熟議が行われました。

熟議では「こどもたちに『生きる力』を身につけさせたい。基礎・基本は小学校時代の人間関係づくりから」、「先生方が心身ともに健康で、元気なことが大切」、「木刈小学校を核として、地域に開かれたものにしていきたい」などの意見が出されました。

先生方がはつらつとした姿で教育活動を行えるよう、日課の見直しを行ったり、今年度早々に音楽指導の地域ボランティアを募集したりと、積極的な小学校運営を進めている木刈小。こうした取組は、こどもたちの学びをより豊かにするだけでなく、学校全体の雰囲気をも前向きにし、地域とのつながりを強める大きな力になっています。



まずは学校の様子を知るため授業参観



学校長より学校経営方針の説明